

## 第1回アジア熱科学会議 (ACTS2017) およびアジア熱科学工学連盟 (AUTSE) 報告

*Report on The 1st Asian Conference on Thermal Sciences (ACTS2017) and Asian Union of Thermal Science and Engineering (AUTSE)*

高田 保之 (九州大学)  
 Yasuyuki TAKATA (Kyushu University)  
 e-mail: takata@mech.kyushu-u.ac.jp

### 1. はじめに

2017年3月26日~30日, 韓国済州島において, 第1回アジア熱科学会議 (The First Asian Conference on Thermal Sciences, ACTS2017) が開催されました. 本会議は, 2015年11月に設立した「アジア熱科学工学連盟 (Asian Union of Thermal Science and Engineering, 略称 AUTSE)」が開催する最初の国際会議であります. 主催は韓国機械学会熱工学部門, 共催は本会および中国工程熱物理学会伝熱伝質分会です. 本稿では, 本会議の概要および会期中に開催された AUTSE の Executive Board Meeting (EB Meeting) について概略をご報告いたします.

### 2. ACTS2017

#### 2.1 会議の概要

会場は, 済州島南部の International Convention Center (ICC) でした. 以前は福岡から済州島まで直行便があったのですが, このルートは数年前に閉鎖されたので, プサン経由かソウル (仁川→金浦) 経由で行かなければなりません. 距離的には近いのですが, 時間は結構かかります. 一方, 成田と関空からは直行便があるようです. 済州島の空港から会場までは, バスでさらに50分ほどかかります. この会場は大規模な国際会議に向いており, 大小多数の部屋でのパラレルセッションが可能です. 付近はリゾートエリアで, 会場から数分も歩けば大浦柱状節理帯 (チュサンジョルリ) があり, 柱状の溶岩石を見ることができます. 済州島全体が非常に風光明媚なところであり, 今回は天候にも恵まれて参加者の皆さんは観光でも満足されたと思います.

まず26日夕方に Welcome Reception (写真1) が行われました. 会議中の料理や飲み物は非常にクオリティが高く, 韓国側のホスピタリティの質の高さを実感した次第です. 英国の友人はかつて

小生に, 「国際会議で何が討論されたのかは覚えていないが, 食べ物が良かったどうかは覚えている.」と言ったことがあります. これは蓋し名言で, そういう意味でも第1回の ACTS は印象に残る会議となりました.



写真1 Welcome Reception (3月26日夕方)



写真2 Opening Ceremony (Sang Yong Lee, AUTSE 会長の挨拶)

27日の朝はオープニングで, AUTSE の Sang Yong Lee 会長 (KAIST, 写真2), ACTS 議長の Sung Jin Kim 氏 (KAIST), 副議長の Xing Zhang 氏 (清

華大) および小生が挨拶を行いました。会議の構成は、午前中に2件のプレナリー講演、その後パラレルセッションで一般講演やポスターセッション、午後にキーノート講演が行われました。日本からは大阪府立大学の須賀一彦先生が、多孔質内乱流のモデリングと数値シミュレーションに関して、素晴らしいプレナリー講演(写真3)をされました。

一般講演のオーラルセッション(写真4)やポスターセッション(写真5)でも活発な質疑や討論が行われていました。部屋によっては入りきれないくらいの盛況ぶりです。その反面聴講者の少ない部屋も散見されました。こういう大きな会議では、聴講者の数の予想が外れることも多く、適切なサイズの講演室を設定するのは難しいと感じました。

会議の4日目の夜 Banquet が、ICC5 階の大ホールで開催されました。乾杯の前に本会藤岡恵子会長(写真6)を含めて、会議の主催者側代表の挨拶が行われました。アトラクションとして、Cookin' Nanta というグループの非常に興味深いショーがありました。ダイナミックな演技だったので参加者のほぼ全員がショーに見惚れていたのが印象的でした。



写真3 須賀一彦先生のプレナリー講演



写真4 オーラルセッションの様子

観客の注意力を長続きさせるコツは、大音量とダイナミズムであるということがよく分かりました。懇親会の最中に個人的にお恥ずかしいところを見せてしまったので写真は割愛させていただきます。

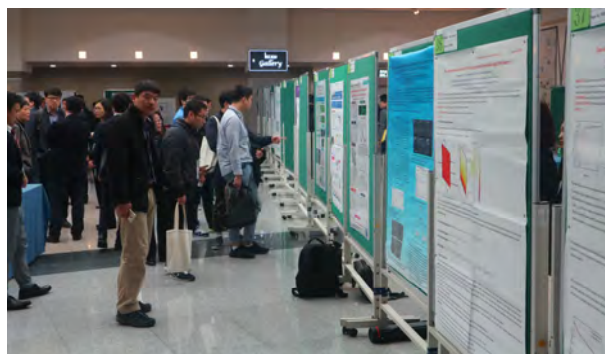


写真5 ポスターセッションの様子



写真6 藤岡恵子本会会長による懇親会での挨拶

ACTS の参加者数、発表件数などの統計は以下の通りでした。

参加登録者：719 名

内訳：韓国 273、中国 269、日本 126、  
その他 51 (19 개국)

発表：Plenary 8, Keynote 25, Oral 379, Poster 138  
27 Topics, 101 sessions

## 2.2 贈賞関係

会議4日目の懇親会開始前に AUTSE の Award Ceremony が開催されました。今回は第1回目の授賞式であり、各章の受賞者は以下の通りです。

Outstanding Achievement Award(OAA):

Prof. Zeng-Yuan Guo, Tsinghua University (China)

Young Scientist Award(YSA):

Prof. Haidong Wang, Kyushu University (Japan)

Prof. Li Chen, Xi'an Jiao Tong University (China)

授賞式の後 OAA 受賞者の Z.-Y. Guo 先生の受賞講

演がありました。今回の受賞者は、OAA は 1 名、YSA は 2 名でしたが、会期中に開催された AUTSE の EB ミーティングで修正案が提案され、OAA は 2 名以内で 4 年毎に贈賞、YSA は 3 名以内で 2 年毎に贈賞ということになりました。次回 YSA はそう遠くない時期に募集が開始されることになると思いますので、適齢期の若手研究者の方はぜひチャレンジしてほしいと思います。



写真 7 Sang Yong Lee AUTSE 会長から Young Scientist Award を受ける Haidong Wang 氏 (九大)

### 3. AUTSE Executive Board Meeting

3 月 27 日の午後に、AUTSE の EB ミーティングが開催されました。日本からは EB メンバーとして小原先生 (東北大) および小生、オブザーバーとして店橋先生 (東工大) と宮崎先生 (九工大) が出席しました。日中韓 3 か国の他に、オブザーバーとして、台湾から C.-H. Chen 氏 (国立成功大学) およびインドから K.Muralidhar 氏 (IIT Kanpur)、Eurotherm Committee の P. Di Marco 会長 (University of Pisa)、J. Szmyd 幹事 (AGH UST) が出席しました。

EB ミーティングで討論され、決定された主な事項は以下の通りです。

#### (1) AUTSE President および EB メンバーの交代

Sang Yong Lee 氏から Sung Jin Kim 氏に会長が交代となりました。任期は次回 ACTS までです。これに伴い、韓国側 EB メンバーの交代が提案され了承されました。すなわち Sang Yong Lee 氏、Jin Taek Chung 氏が退任し、後任に Min Soo Kim 氏 (Seoul National University)、Ji Hwan Jeong 氏 (Pusan National University) が選定されました。日本および中国のメンバーは留任することになりました。

#### (2) 次回 ACTS

2020 年 11 月に宮崎シーガイアで開催予定の第 2 回 ACTS (議長 花村克悟氏 (東工大)) の準備状況について、宮崎康次実行委員長が説明を行いました。また、第 3 回 ACTS は 2024 年に中国で開催することが決まりました。Chang-Ying Zhao 氏 (上海交通大) がホストをする予定です。第 2 回は 3 年半後という変則開催ですが、第 3 回以降は 4 年毎という定常モードに移行します。

#### (3) 新メンバー

AUTSE は現在、韓国、中国、日本の 3 か国で運営されていますが、今後参加国・地域を順次拡大していく予定です。今回、オブザーバーとして台湾とインドが EB ミーティングに参加しました。両代表とも AUTSE のメンバーになる方向で、ディスカッションを開始いたしました。濟州島での会議以降もメール審議が続いています。

#### (4) Eurotherm Committee との連携

AUTSE を立ち上げる際のモデルとなったのが、欧州の Eurotherm Committee です。今回、ACTS に参加された P. Di Marico 会長、J. Szmyd 幹事と両団体の連携について議論を行い、友好関係を深めていくことで合意いたしました。具体例としては、Eurotherm Committee が主催する European Thermal-Sciences Conference (ETSC) と AUTSE の ACTS に双方の団体からプレナリーやキーノート講演者を相互に派遣することなどであり、2020 年は夏に ETSC が 11 月に ACTS が開催予定であり、Eurotherm 側からバッチングの懸念が示されましたが、AUTSE 側としては開催の季節や参加対象者が異なっており、そのような懸念は無いとの認識です。むしろ相互の交流が活発になるとプラスの効果を確認しています。

### 4. 終わりに

AUTSE が 2015 年 11 月に設立されて、あっという間に 1 年半が経ってしまいました。この間、日中韓の連携は深まり、第 1 回の ACTS も成功裏に開催することができました。近々に AUTSE の新メンバーも加わり、このアジアのネットワークは順調に広がっていくものと確信しています。年度末の極めて多忙な時期に ACTS にご参加いただきました本会会員の皆様に厚くお礼申し上げます。